

## 地域事業と学校

港区立青山中学校長 福井 正仁

### 1 地域事業の意義

- ・地域事業は、子どもの社会体験が十分ではないと言われる現在、貴重な社会体験の機会となる。体験そのものも貴重であるが、社会体験を通して、人との出会いが生まれ、コミュニケーションの輪が広がり、子どもの自主性、主体性や社会スキルが培われる。
- ・地域の大人が重層的に子どもにかかわることが、子どもをバランスの取れた「大人」にする確実なステップとなる。本地域は、親子二代、三代と住む方もおられ、町会や商店会の活動が盛んで、地域のつながりが強い。また、子どもを地域で育てるという意識が強い。

### 2 中学生の地域事業へのかかわり

- ・中学生は、「何か」をしてもらって喜ぶ年代ではなく、自ら「何か」をしてこそ達成感が得られる。また、一人一人の特性や興味・関心が大きく異なるため、それぞれにあった地域事業への参加の仕方を見付けさせることが大切である。
- ・親子で地域事業に参加するより、友達と参加することを選ぶことが多くなる。
- ・「みなとキャンプ」や多彩な地域の行事に、小学生は多数参加するが、中学生の参加が少ないところが話題になることが多い。中学生の参加を促すためには、中学生の満足が得られる実施内容・方法・形態等を工夫する必要がある。中学生には、年少の子どもへの助言者としてリーダーシップを発揮させたい。また、事業の企画・運営にもかかわらせたい。事業の一部に責任をもたせ、思い切りやらせてみたい。その際、多様な挑戦を支援し、失敗を受け止める環境が重要である。

### 3 中学生の日常の姿

- ・勉強、部活動、習い事、塾等で、友達と気楽な時間を過ごすこともままならない。時に、疲れすぎている場面もある。
- ・中学生は、私たちが考えているより、もっともっと「大人」である。必要以上に「子ども扱い」されることが多く、周りの大人が、子どもの「目先の利益」のために丁寧に世話をしてくれるので、自主性、主体性が育ちにくい。
- ・中学生自らは、多様な体験にチャレンジし、多くの仲間とかかわり、視野を広げ、自分を高めたいと強く願っている。

### 4 青山中学校における地域等とかかわる教育活動、校外での教育活動の一例

#### (1) 地域の学校、幼稚園等との交流

- ・青南幼稚園の親子運動会の運営の補助として、ボランティア・アート部の生徒が活動する。また、3年生が保育実習をさせていただく。
- ・吹奏楽部が、青山小学校、青南小学校と共同で、スプリング・コンサートを開催する。
- ・ボランティア・アート部が地域の乳児院を訪れ、クリスマス会に出演する。
- ・国際交流部が、東京インターナショナル・スクールを訪問して交流する。

#### (2) 他の中学生との交流

- ・岐阜県郡上市の中学生との交流  
毎年8月、郡上市の中学生が本地区を訪れ、青山中学校、赤坂中学校生徒との交流を続けている。
- ・新島村立式根島中学校生徒との交流  
式根島中学校生徒が本校を訪れ、授業や給食等で1日を一緒に過ごす。
- ・都立青山特別支援学校中学部生徒との交流  
本校1年生と特別支援学級生徒が、青山特別支援学校を訪問し、ボール運び競争やフォークダンスで交流した。

### (3) 地域の大使館との交流

- ・国際交流部が、地域の大使館を訪問したり、来校してもらったりして、各国の教育等について学んだ。(H25・26 は、ブラジル連邦共和国、フィジー共和国、トーゴ共和国、イランイスラム共和国等)

### (4) 地域へ出かけて実施する教育活動

#### ・美術館学習

毎年、学年ごとに、サントリー美術館、国立新美術館、森美術館、21\_21 DESIGN SIGHT 等に出かけて学習する。その際、玉川大学芸術学部の学生十数名が、生徒の各グループに助言者として加わる。この授業をきっかけに、希望生徒が美術館の行事にもかかわり、活動するという交流が生まれている。

#### ・地域清掃活動

各学年、学期に1回、学校周辺の地域清掃活動を実施する。

### (5) 地域の皆様の支援による「出前授業」

#### ・サントリーホールのスタッフによる音楽の授業

・文化庁「文化芸術による子供の育成事業」による、雅楽に触れ、和楽器体験する音楽の授業

#### ・NHK 交響楽団による開校記念演奏会（キスポーツ財団の支援）

### (6) キャリア教育

#### ・職場訪問

1年生が、半日、約20の地域の事業所（企業や公官庁）を訪問し、職業について学ぶ。

#### ・就職模擬面接

1年生が、東京青年会議所港区委員会の支援によるプロアクティブ・キャリアデザイン事業として、就職の模擬面接を体験する。

#### ・職場体験

2年生が、3日間、約20の地域の事業所（企業や公官庁）で職場体験を実施し、生徒が成果をまとめて発表する。また、事前に区内ホテルの支援により、マナー講座を受ける。

#### ・高校の授業体験

3年生が日比谷高校、2年生が青山高校に行き、高校の授業を体験する。

### (7) 生徒の地域行事への参加

・「みなとキャンプ」、「青山みんなで走ろう会」、「青山スキー教室」等の青少年対策青山地区委員会の行事へ生徒が参加する。毎年、継続して参加している卒業生もおり、世代がつながっている。

・町会や商店会の行事に生徒が参加する。例として、青山商店会連合会の「青山まつり」で吹奏楽部が演奏する。

・社会を明るく運動で、吹奏楽部が演奏し、多数の生徒がパレードにも参加する。

・「青山児童館子どもまつり」で、ゲームコーナーを運営する。

・「赤坂・青山共育フェスティバル」（赤坂・青山子ども中高生共育事業）で、ボランティアとして活動する。

### (8) 青山中学校区共育懇談会

・H26 第1回（H26.6.26） 「港区地域こぞって子育て懇談会」実行委員の皆様、明治学院大学社会学部附属研究所の支援により、地域、保護者の皆様が集まり、子育てに関する悩みや感じていることを共有した。

・H26 第2回（H26.12.10） 中学生が自らの夢や考え方について語り、地域の皆様と意見交換をする「中学生座談会」を開催する。H25の座談会では、地域の方が1964東京オリンピックの頃の青山の街を振り返り、生徒が2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた夢を語った

## 5 中学生の関わりが一層期待される地域事業

- ・総合防災訓練、地域防災訓練、避難所運営訓練
- ・地域と連携した清掃活動
- ・校内の「まちのビオトープ」の整備